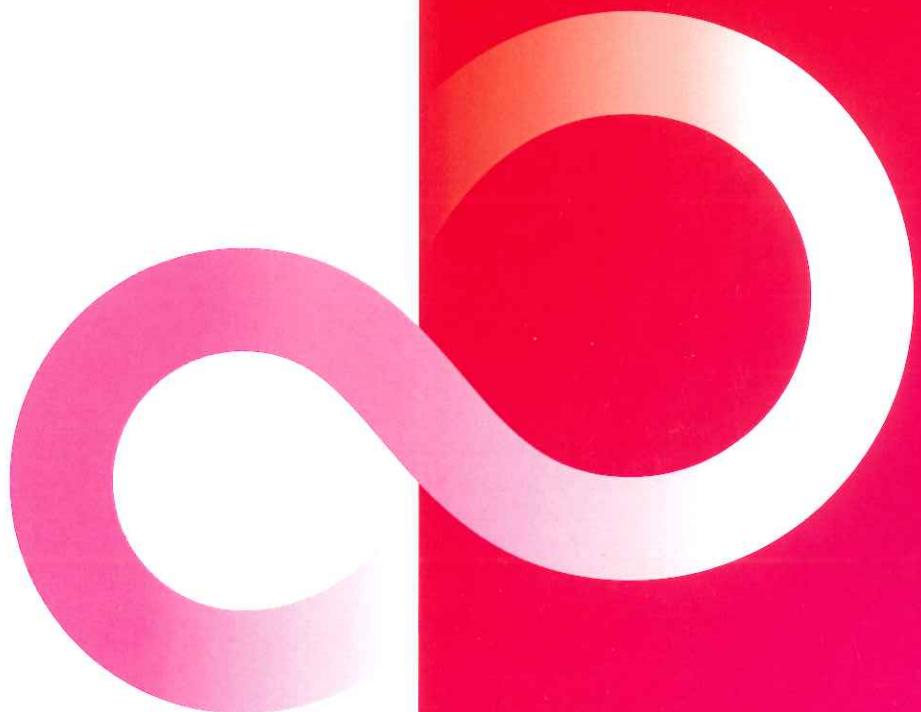


FUJITSU

Fujitsu 人材育成・研修サービス
無線LANのトラブル防止と
トラブルシューティング

テキスト
UJE70L1N-04



目次

第1章 テーブル対策の必要性

1.1	ネットワークトラブルとその影響	15
1.2	トラブル対策とは	17
1.3	無線 LAN のトラブル	18

第2章 テーブル未然防止のために

2.1	無線 LAN 設計の流れ	21
2.2	トラブル未然防止のためのポイント	22
2.2.1	運用によるトラブル回避	23
2.2.2	端末の仕様確認と接続確認	24
2.2.3	アクセスポイント設置場所の決定	25
2.2.4	アクセスポイント設置台数の決定	26
2.2.5	通信の把握	27
2.2.6	サイトサーベイ実施と記録	28

第3章 テーブルシーティング

3.1	トラブルシーティングとは	31
3.2	OSI 参照モデルの適用	32
3.3	トラブルシーティングの流れ	34
3.3.1	事前準備	35
3.3.2	事実確認と整理	36
3.3.3	応急処置	37
3.3.4	切り分け	38
3.3.5	対処	39

第4章 事前準備

4.1	前提知識と導入時に検討すべき事項	43
4.2	無線 LAN の通信特性	44
4.3	無線 LAN 接続と通信確立の仕組み	45
4.3.1	レイヤー1～電波到達～	46
4.3.2	レイヤー2～無線 LAN 接続～	47
4.3.3	レイヤー2～IEEE802.1X 認証～	49
4.3.4	レイヤー2～暗号鍵の生成～	50
4.3.5	レイヤー3～IP アドレスの取得と IP 疎通～	52
4.3.6	レイヤー4 以上～名前解決とアプリケーション通信～	53
4.3.7	定期的な処理	54
4.4	ネットワーク構成	55
4.5	システム方式	56
4.6	利用者の見た目	57
4.7	運用方法	58
	<参考>コントローラーと運用管理ソフト	60
	<参考>無線 LAN 用調査ツール	61

第5章 事実確認と整理

5.1	事実確認と整理	65
5.2	ヒアリングによる事象の確認	66
5.3	現場環境の確認	68
5.4	変化(イベント)の確認	69
5.5	事実の整理	70

第6章 切り分けと対処

6.1	切り分け	73
6.2	無線 LAN 状態の確認	75
6.3	事例確認	76

6.3.1	無線 LAN 切断状態のトラブル事例	77
6.3.2	無線 LAN 接続状態のトラブル事例	87
6.4	情報採取	94
6.4.1	再現テスト	96
6.4.2	パケットキャプチャー	97
6.4.3	端末情報の採取	98
6.4.4	システム情報の採取	99
6.5	原因特定	100
6.6	パケットキャプチャー解析	101
6.6.1	フィルター機能の使用方法	102
6.6.2	フィルター条件の指定方法	104
	<参考>フレームのタイプとサブタイプ	105
6.6.3	ACK と再送フレーム	107
6.6.4	無線 LAN パケットと有線 LAN パケットの対応	108
	演習 1	110
6.7	無線 LAN が切断されている場合	111
6.7.1	アソシエーション	111
6.7.2	IEEE802.1X 認証	112
6.7.3	暗号鍵生成	115
6.7.4	IEEE802.1X 再認証と暗号鍵更新	116
6.7.5	ローミング	117
6.8	無線 LAN が接続されている場合	118
6.8.1.	IP アドレスの取得	118
6.8.2.	ARP 解決	119
6.8.3.	DNS による名前解決	120
6.8.4.	アプリケーション通信	121
6.9	端末の調査	123
	演習 2	124
6.10	対処	126

第7章 トラブル事例

7.1	オフィス環境の変化によるトラブル	129
7.2	周辺環境の変化によるトラブル	130

7.3 端末仕様に起因するトラブル	131
7.4 端末とアクセスポイントの台数によるトラブル	132
7.5 想定しないローミング動作によるトラブル	133
7.6 無線 LAN 帯域の圧迫によるトラブル	134

第1章

トラブル対策の必要性

学習目標

この章では、トラブル対策とは何か、その対策の必要性について学習します。